

## 8月定例教育委員会会議録

### 1 開催日時

平成25年8月6日（火） 午前10時～午前11時

### 2 場所

鳥取県庁第2庁舎5階 教育委員会会議室

### 3 出席委員

中島諒人、坂本トヨ子、笠見幸子、若原道昭、松本美恵子、横濱純一（教育長）

### 4 欠席委員

なし

### 5 出席事務局職員

教育次長 生田文子、次長 山本仁志、参事監兼高等学校課長 山根孝正、  
教育総務課長 森田靖彦、教育環境課長 前田伸二、  
小中学校課長 石田明広、特別支援教育課長 足立正久、  
いじめ・不登校総合対策センター長 松岡一、  
教育センター所長 坂本修一、家庭・地域教育課長 宮城絵理、  
図書館長 高橋紀子、人権教育課長 岸田康正、  
文化財課長 上山憲二、博物館長 山内有明、  
スポーツ健康教育課長 吹野英明、教育総務課参事 木本美喜、  
教育総務課参事 谷和敏

### 6 会議

10時、中島委員長が開会を宣言した。

#### (1) 日程説明

森田教育総務課長が本日の日程を報告。

#### (2) 一般報告

横濱教育長より、県立学校長会の開催、全国都道府県教育委員会連合会第1回総会、サイエンスレクチャー「白川博士講演会」への出席、佐賀県伊万里市民図書館及び福岡県小郡市図書館の視察、全国高校総体開会式へ

の参加、教育委員会委員協議会、所属長会議の開催、県選出国會議員との意見交換会及び要望活動の実施、中国・四国地区肢体不自由教育研究協議会、コンプライアンス確立本部会議への出席、第12回国際高校生フォーラム in 倉吉 2013 開会式、鳥取県PTA協議会教育懇談会、三鷹市教育委員長との意見交換会、市町村(学校組合)教育委員会教育委員研修会の開催、大山町での記録的大雨等について報告があった。

### (3) 議事

#### ・議案第1号 鳥取県教育委員会職員服務規程の一部改正について

森田教育総務課長より、鳥取県教育委員会職員服務規程の一部改正について説明があった。内容については、供応接待等の禁止について明文化するため訓令の一部改正を行うというものである。具体的には、「第5条 職員は、職務遂行の公正さを疑われるような供応接待又は利益の供与を受けてはならない」という規定を追加する旨の説明があった。

次いで、審議が行われ、中島委員長、横濱教育長より、第5条以下の条文の改正内容や懲戒処分等の指針への反映について質問があり、森田教育総務課長より現状やこれからの対応について説明があった後、議案第1号は原案のとおり可決された。

#### [非公開]

人事に関する案件のため、議案第2号については、非公開と決定された。

#### ・議案第2号 鳥取県教育審議会委員の任命について

木本教育総務課参事より、鳥取県教育審議会委員の任命について説明があった。

次いで審議が行われ、議案第2号は原案どおり可決された。

#### ・報告事項ア 平成26年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験について

山根参事監兼高等学校課長より、平成26年度鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験について説明があった。7月27・28日に鳥取県公立学校教員採用候補者選考試験の1次試験が行われた。全体の志願者数は1,049名、受験者数は981名、欠席者は68名で、今年度の競争倍率は

5. 8倍であった。以前、倍率3.4倍という大量採用の年があったが、それ以降で6倍を切ったのは昨年度と今年度だけである。二次試験の日程としては、小中学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭については9月17日から20日までの4日間、中学校・高等学校教諭共通と高等学校教諭については9月21日・22日の2日間で行われる旨の説明があった。

次いで、質疑応答が行われ、笠見委員、中島委員長、松本委員、坂本委員より、一次試験の欠席者の理由の把握状況や、来年の採用数の予想及び男女の採用数の別、倍率が下がっているがどのように志願者を増やしていくか等の質問や、試験科目の中にコミュニケーション能力の高さや協調性の有無、表現力をはかれるような工夫ができれば検討してほしい等の意見が出された。

山根参事監兼高等学校課長より、現状とこれからの対応について説明があった。

#### ・報告事項イ 国指定重要無形文化財の保持者認定及び県内文化財建造物の新規国登録について

上山文化財課長より、平成25年7月19日に答申が行われた国指定重要無形文化財の保持者認定及び県内文化財建造物の新規国登録について説明があった。認定されたのは鳥取市在住の前田昭博氏で、昭和29年生まれの満59歳、工芸技術の部 白磁、鳥取県内在住者では初の認定者となる。その作風は、伝統的な技法を踏まえつつ、豊かな芸術性を備え、かつ現代感覚に溢れている。日本芸術工芸展等で受賞を重ね、さらに紫綬褒章を受けるなど高い評価を得ており、後進の指導・育成にも尽力している。また、今回の重要無形文化財保持者の認定を記念して、県立博物館の「コレクション展Ⅲ」(H25.8.28~9.23)の中で収蔵作品の展示を行うこととしている旨の説明があった。

次に、国登録有形文化財(建造物)の登録について、鳥取市栗谷町の興禅寺本堂が登録の答申を受けた旨の説明があった。興禅寺は、久松山の山裾に位置する黄檗宗の寺院で、鳥取藩主池田家の菩提寺であった。江戸時代から残っている御霊屋(おたまや)に、明治・大正期に増築を重ねたことで複雑な屋根形式となっている。室内も住宅風の意匠とし、随所に池田家の揚羽紋を配しており、文化文政期の華やかさを持ちつつも、大名の御霊屋としての格調ある空間と由緒を伝えていることが評価されたと説明があった。

次いで質疑応答が行われ、横濱教育長より、官報告示の時期について質

問があり、上山文化財課長より回答があった。

#### ・報告事項ウ 平成28年度全国高等学校総合体育大会の開催について

吹野スポーツ健康教育課長より、平成28年度全国高等学校総合体育大会の開催について説明があった。全国高等学校総合体育大会（インターハイ）は、高等学校教育の一環として高校生に広くスポーツの実践機会を与え、技能の向上とスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健全な高校生を育成するとともに、高校生相互の親睦を図るために行われているものであるが、このたび平成28年度に全国高等学校総合体育大会が中国ブロックで開催されることとなり、大会期間の7月から8月に、本県では4競技（相撲、弓道、自転車（トラック）、ホッケー）を開催することとなった。今後の主なスケジュールとしては、平成25年度は、関係市町と調整・協議の上、会場地を決定し、平成26年度は県準備委員会の設立、平成27年度は県実行委員会の設立、平成28年度に全国高等学校総合体育大会開催という流れで進めていく。現在、平成28年度全国高等学校総合体育大会のスローガンや愛称、ポスター等を高校生から募集しているところである旨の説明があった。

次いで、質疑応答が行われ、準備委員会・実行委員会は教育委員会が主体となるのか、本県の学校には登山の部活があるのか等の質問があり、吹野スポーツ健康教育課長より、現状について説明があった。

#### ・報告事項エ 鳥取県スポーツ指導者研修会の開催について

吹野スポーツ健康教育課長より、鳥取県スポーツ指導者研修会の開催について説明があった。平成25年9月21日（土）、米子コンベンションセンターにおいて、平成25年度鳥取県スポーツ指導者研修会 ～今求められるスポーツ指導の在り方について～ が開催される。本県においてスポーツ指導に携わるすべての関係者を対象として、スポーツについて考え、スポーツの指導者として求められる姿を議論し、本県のスポーツ界から体罰を含めた反倫理的行為を根絶し、すべての人々がスポーツ文化を享受できる環境の構築に資することを目的として、小学生スポーツ指導者（スポーツ少年団を含む）、中学校、高等学校運動部活動顧問及び外部指導者等、各市町村教育委員会スポーツ所管課担当者、スポーツ推進委員などを対象に、シドニーオリンピック水泳日本代表の萩原智子氏と清水隆一コーチングカレッジの田中守氏による講演が行われる旨の説明があった。

次いで、質疑応答が行われ、中島委員長、松本委員、横濱教育長より、予想される出席者数や特別講演の内容について、指導者になるにはこのような研修など何か必要な資格があるのか等の質問があり、吹野スポーツ健康教育課長より、現状について説明があった。

- ・ **報告事項オ、カについては、資料配布のみとし説明は省略することとなった。**

中島委員長が閉会を宣言し、8月定例教育委員会を閉会した。